

資料5 東京電力株式会社福島第一原子力発電所現地視察に関する追加質問、意見等の回答

1 福島県

番号	質問、意見等	回答
1	現地視察、念願叶えてまず良かった。現地を見ることの大事さ、聞くことの大事さを改めて痛感した。今後も継続的に視察をお願いしたい。	福島県としましては、構成員の皆様の御意見や御希望を踏まえながら、今後もこのような機会を設けていきたいと考えております。

2 東京電力

番号	質問、意見等	回答
1	現地視察、念願叶えてまず良かった。現地を見ることの大事さ、聞くことの大事さを改めて痛感した。今後も継続的に視察をお願いしたい。	2014年4月に福島第一廃炉推進カンパニーを発足させ、カンパニー内に視察センターを設置、視察対応についても、出来る限り多くの方に視察いただけるよう対応できるよう強化したところです。引き続き視察者対応拡大については検討して参ります。
2	視察にあたって、カメラを持込規制するのはなぜか。県民に不信感を増強させるに等しくなる。(見せたくないものがあると思われる。) 原発の現在の姿を県民は運命共同体である。互いに分かち合って信頼関係で進むべきが基本であると思うので。	原子力発電所は、原子炉等規制法に基づく「実用発電用原子炉の設置、運転に関する規則」第15条の3において防護措置が詳細に定められております。また、テロリストなどによる核物質の盗取、原子力施設に対する妨害破壊行為を防止するため核物質防護(PP:Physical Protection)の重要性が一層高まっている現状にあり、視察される皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をいただいているところでございます。こうした点を視察に際してはご説明することで引き続きご理解をいただけるよう努めて参ります。

資料5 東京電力株式会社福島第一原子力発電所現地視察に関する追加質問、意見等の回答

番号	質問、意見等	回答
3	<p>廃炉への道程に最低40年かかるという現地のお話し。現在10才の子供は50才になるという長期間。この子らに1日も早い安心を与えるために世界の叡智を結集して対応すべきである。今から対応できる組織体制をつくり行動に入るのが急務と思います。</p>	<p>責任体制を明確化し、集中して取り組むことを目的として、「福島第一廃炉推進カンパニー」を2014年4月に設立しました。</p> <p>同カンパニーにメーカー3社の原子力統括責任者に準ずる人材を招へいするとともに、海外での廃炉、汚染エリアを有する各国の経験を積極的に収集することにより、廃炉・汚染水対策を着実に実施し、福島の一日も早い復興に向けて全力で取り組んでまいります。</p>

3 国(内閣府資源エネルギー庁)

番号	質問、意見等	回答
1	<p>廃炉への道程に最低40年かかるという現地のお話し。現在10才の子供は50才になるという長期間。この子らに1日も早い安心を与えるために世界の叡智を結集して対応すべきである。今から対応できる組織体制をつくり行動に入るのが急務と思います。</p>	<p>御指摘のとおり、廃炉・汚染水対策に最善を期すため、国内外の叡智を結集し、世界に開かれた形で取り組んでいくことは必要と考えています。実際に、既に米国やフランス等の多くの技術が、福島第一原発で使われています。また、昨年、国際廃炉研究開発機構を通じて、廃炉・汚染水対策に関する技術情報の公募を、国内外に広く行い、汚染水対策については780件(うち約3分の1が海外からの提案)、廃炉対策については約190件(約4割が海外からの提案)の技術情報の提供をいただいております。現在、これらいただいた技術情報を基とした実証事業の実施に取り組んでおります。他にも、国際原子力機関のレビューミッションを受入れ、専門家から廃炉・汚染水対策に係る評価や助言を受けて入れております。また、現在国会では原子力損害賠償支援機構に廃炉関係業務の追加等のための法律案が審議されているところですが、法成立後の機構の運営においては、人員構成等の中で、国内外の叡智を結集する工夫を行う予定となっています。これらの取組を通じて、今後も引き続き、国内外の叡智を結集し、廃炉・汚染水対策の解決に向けた取組を進めてまいります。</p>